

FIELDS CORPORATION



2022年3月期2Q 決算説明資料

フィールズ株式会社
東証一部 2767

2018年4月に経営体制を刷新

持続的成長をめざした経営改革 諸施策を実行

① グループ経営の選択と集中

- ・ 当社はパチンコ事業流通分野に特化
 - ・ IP事業を円谷プロ／デジタル・フロンティアに集約
-

② グループ企業における 商品力・技術力の強化

将来市場／顧客嗜好を汲み取った事業展開のため

- ・ グループ各社の商品・サービス、技術力の強化施策
 - ・ グループ間連携の強化
-

③ 継続的なコスト削減施策

- ・ 2015年度をピークに改善傾向
-

① グループ経営の選択と集中の実行

今後の成長ドライバーとなるIP事業は、円谷プロとデジタル・フロンティアに集約・集中

円谷プロダクション

デジタルサービスの拡充

- ・ 「TSUBURAYA IMAGINATION」(NTTドコモ社との共同事業)
- ・ ECサイト「TSUBURAYA STORE ONLINE」
- ・ ライブ配信

映画ビジネス

- ・ 『シン・ウルトラマン』（企画・脚本：庵野秀明氏）公開日調整中

グローバル展開

- ・ Netflix、マーベル等との共同IP企画・開発
- ・ 中国を中心としたアジアでのマーチャンダイジングが伸長

デジタル・フロンティア

国内トップクラスのCG映像、VFX技術が強み

- ・ 国内大手ゲーム会社を中心としたCG映像制作
- ・ NetflixとのVFX映像制作等

その他グループ事業

- ・ 堅調に推移

② グループ企業における商品力・技術力の強化

■ PS事業における商品力の強化

1. 「良い商品」の安定供給のため、商品企画・開発力の強化を最重要課題と定義

良い商品…成熟社会における余暇のあり方（適度な時間消費と金額消費）に基づくファンの顧客満足とホールの収益性を両立

2. プロセスを抜本的に構造改革し、販売・開発一体となった組織づくりを推進

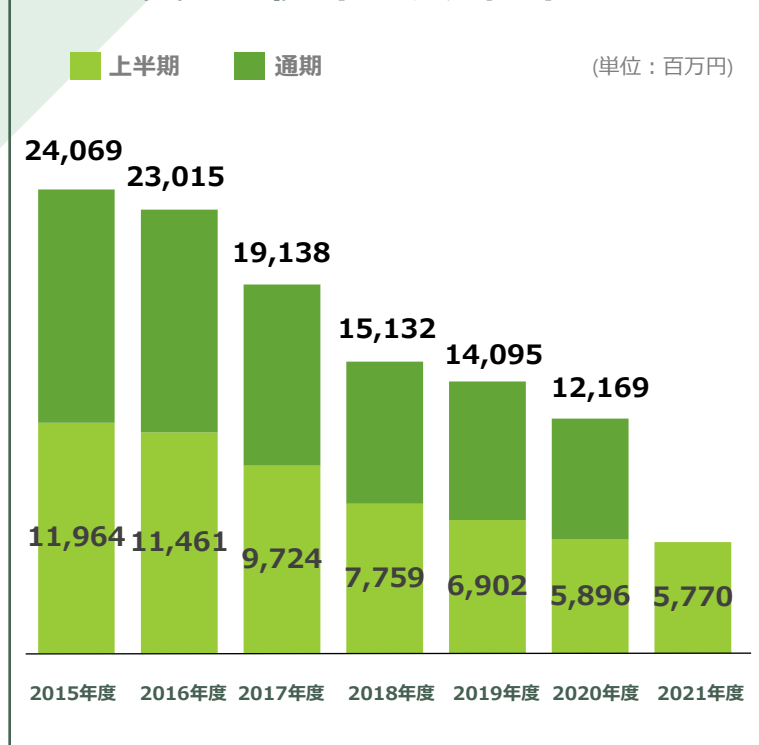
➡これらの取り組みにより、販売台数も改善

PS販売台数	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
上半期実績	43,026台	64,561台	16,501台	77,918台
通期実績	138,023台	191,335台	95,911台	

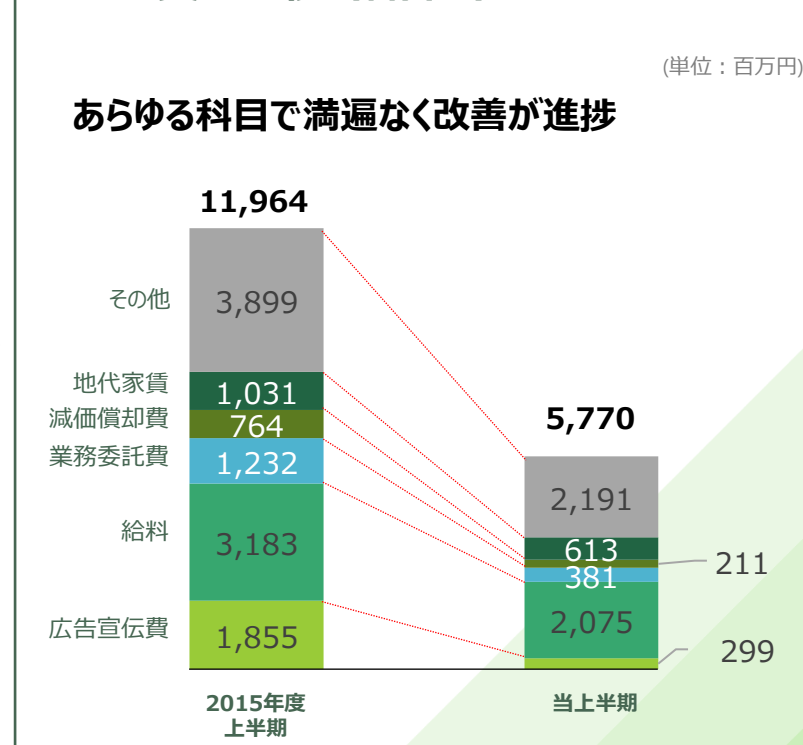
③ 継続的なコスト削減施策の実施

■ 販売費及び一般管理費の改善

販管費の推移（過去6ヶ年度）



販管費の推移（科目別）



2022年3月期上半期 連結P/L (要約)

当上半期における営業損益は、前年同期の33.2億円の損失から3.5億円の黒字へと改善

	前期		当期	前年同期	(単位：億円)
	上半期	通期	上半期	増減額	
売上高	105.9	387.9	373.4	267.5	
売上総利益	25.6	99.2	61.2	35.5	
販売管理費	58.9	121.6	57.7	△1.2	
営業損益	△33.2	△22.4	3.5	36.8	
経常損益	△32.4	△20.3	5.9	38.4	
親会社株主に帰属する 当期純損益	△39.2	△34.5	3.1	42.3	
パチンコ販売 (台)	4,071	50,124	65,199	61,128	
パチスロ販売 (台)	12,430	45,787	12,719	289	
合計	16,501	95,911	77,918	61,417	

※ 会計方針の変更：「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

2022年3月期上半期(2021年9月末) 連結B/S (要約)

(単位：億円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減額	主な増減要因
流動資産	391.4	416.9	25.4	売上債権の増加
固定資産	132.2	134.2	2.0	
資産合計	523.7	551.2	27.5	
流動負債	108.9	167.9	58.9	有償支給取引に係る負債および 仕入債務の増加
固定負債	110.3	92.9	△17.3	長期借入金の減少
負債合計	219.2	260.9	41.6	
純資産合計	304.4	290.3	△14.1	
負債純資産合計	523.7	551.2	27.5	

※ 会計方針の変更：「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

2022年3月期上半期 連結C/F (要約)

(単位：億円)

	前期		当期	当上半期の主な内訳
	上半期	通期	上半期	
営業キャッシュ・フロー	10.3	36.9	10.0	税金等調整前四半期純利益 +7.8 仕入債務の増加 +16.4 棚卸資産の増加 Δ 10.0 売上債権の増加 Δ 7.4 減価償却費 +3.4
投資キャッシュ・フロー	Δ 6.6	Δ 10.7	Δ 4.9	出資金の払込による支出 Δ 5.5 投資有価証券の売却による収入 +4.6 固定資産の取得による支出 Δ 4.1
財務キャッシュ・フロー	Δ 30.5	Δ 28.3	Δ 22.1	長期借入金の返済による支出 Δ 20.4 配当金の支払 Δ 3.2 長期借入れによる収入 +2.0
現金及び現金同等物の増減額	Δ 26.8	Δ 2.1	Δ 17.0	
現金及び現金同等物の期首残高	247.2	247.2	245.1	
現金及び現金同等物の期末残高	220.4	245.1	228.2	

※ 会計方針の変更：「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

今期の見通し

第3四半期 ●PS事業



●その他グループ事業

円谷プロダクション、デジタル・フロンティアをはじめ、その他のグループ企業も順調に推移

第4四半期および今期の見通しについては、決算短信の通り「未定」とさせていただきます。

©奥浩哉/集英社 ©奥浩哉/集英社・「GANTZ:O」製作委員会 ©OK!! ©円谷プロ ©OK!! 製造元/京楽産業、株式会社 ©2010すずきあき6・Niê・ホビー・ジャック/百花繚乱パートナーズ ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
©三浦建太郎(スタジオ我画)/白泉社(ヤングアニマル) ©三浦建太郎(スタジオ我画)・白泉社/BERSEK FILM PARTNERS ©三浦建太郎(スタジオ我画)・白泉社/ベルセルク製作委員会 ©コーエーテクモゲームス ©newgin
©西崎義展/宇宙戦艦ヤマト2202製作委員会 ©Bisty 原作/藤田和日郎「うしおとら」(小学館刊) ©藤田和日郎・小学館/「うしおとら」製作委員会 ©奥浩哉/集英社 ©奥浩哉/集英社・「GANTZ:O」製作委員会 ©CROSSALPHA ©NANASHOW 開発/株式会社パイキー 製造元/株式会社エフ ©カラー ©カラー/Project Eva. ©Bisty
©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

免責事項

本資料に掲載されている弊社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、弊社の主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社の取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。